

量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル拠点（仮称）整備事業設計業務の 審査の経過及び結果について

量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル拠点（仮称）整備事業設計業務に係る設計者について、公募型プロポーザル方式により、次のとおり特定されました。

1. 業務名

量子・AI 融合技術ビジネス開発グローバル拠点（仮称）整備事業設計業務

2. 審査委員（所属・役職名は官報公告時のもの）

委員長	池田 勉	（施設部 部長）
副委員長	須貝 正秋	（施設部 審議役）
委員	豊田 昌弘	（施設部）
委員	西野 創	（施設部）
委員	藤崎 英一	（施設部）
委員	大橋 哲	（施設部）
委員	田丸 信秀	（施設部）
委員	小林 佳代	（施設部）

3. 審査経緯

審査基準策定等

令和5年2月7日（火）第1回プロポーザル審査委員会
選定基準・特定基準の決定、プロポーザルテーマの決定等
一次審査（プロポーザル提出者の選定）

令和5年3月29日（水）第2回プロポーザル審査委員会
参加表明のあった1者から、プロポーザル提出を要請する1者を選定
二次審査（ヒアリング・質疑応答）

令和5年5月11日（木）第3回プロポーザル審査委員会
プロポーザルを提出した1者から、1者を設計者として特定

4. 特定結果

株式会社 梓設計

5. 特定理由

プロポーザル審査委員会にて、提出されたプロポーザル資料内容に関するヒアリング及び質疑応答を行い、評価事項である「説明書の理解度」、「実施方針の妥当性」、「提案の的確性・独創性・実現性」において検討した結果、良好な評価結果となったことから、株式会社 梓設計が設計者として特定された。